

42年3月号

【第58号】

発行所

編集発行人

大分県・日田・中津江村

川津一人

云なつかえ



三月のことを和名で「やよい」といいます。「やよい」(彌生)から転化したことばで、三月(旧暦)になるとすべての草木が春の陽気にめぐまれてどんどん育つという意味があります。そんなことからわたくしたち日本人には、たいへん親しまれている和名の一つといえましよう。

しかし、大陽暦の三月はまだまだ寒い日もあり、時には雪などが降ることもあります。といつてもやはり三月です。そよそよと東風が吹きはじめ、気分も何となくうきうきしてくるものです、東風のことを「こち」といいますが、例の「こち吹かば、においおこせよ梅の花、あるじなしとて春を忘るな」という歌を思い起こすことでもしょう。

二
月

型式認可のものあるを

（型式認可）があるのをえらぶことです。マークのあるものは、国で製品を試験した結果、合格したものであると いうしるしで、ネームプレート（銘板）に書いてあります。

つぎに、信用と技術のある店で買うことです。電気器具は長い間使用するものだけに買ったあとでも、よく面倒をみてくれる店で求める方が便利です。これは、前もってそのお店の評

主な電気用品に附されるマークおよび番号

電気用品の種類	マークおよび番号
配 線 器 具	▽ 4 1 ~ 0 0 0
電 流 制 限 器	▽ 5 1 ~ 0 0 0
小型相度圧器または放電灯用安定器	▽ 6 1 ~ 0 0 0
小 型 交 流 電 動 器	▽ 7 1 ~ 0 0 0
電 熱 器 具	▽ 8 1 ~ 0 0 0

最近のよううに電気器具が数多く出回ると、電気器具を買う場合にいろいろ判断に迷つて困る場合があります。そこで電気あります。ぶことも忘れないでください。

判をよく調べておくことです。また買おうとする器具についての正しい知識を身につけることも大切です。電気器具店によく相談したり、実際に使用している人にきいたりするのがよいでしょう。家族の人数や部屋の広さに適した器具を考える

▼ つぎ木の要旨

第一に適期をすること。

第一はつぎ穂の適期採取

第三回

などは発芽は
じめからがよ

つ
き
穂

分に行なう事であります
つき木の適期については
これまで春の彼岸がきたら
つき木してもよいといわれ
ているが、これは誤りで、
つき木しようとする台木が
生理的に活動を始めたころ
からとなります。

く、梅は開花
中に接木する
▼ つぎ穂の
とり方

果樹の接木と繁殖法

▼ つぎ木の用具
ノコ、剪定鋏、
ミソリ位いの切味
とが必要である。
結束として打ワラ

い
乾燥を防ぐために

▼ 接着後の管理

台木の小さいもの（直径
五センチメートル以下は切

接穂のビニールを取除いて
支柱を立て、新しい枝が折

接法、台木の大きいものはハギ接法、また皮のはげにくるものについては直角キリ接法を行なう。

いづれの接木法による場合も、共通して大切なことは、接穗の「そぎ口」が台木よりやや上に出ていること

れないよう保護すること
が大切である。キリつぎの
場合は、根切虫におかされ
ることがあるから、殺虫剤
をまいておくとよい。不明
の点は農業改良普及員に相
問い合わせ下さい。

香典返しとして
寄附

おもな果樹の接木の適期
つて、水分五十%程度の砂または、ノコクズの中に咲

妻猪野アサ子氏を失なわ
れました猪野王生氏

一円玉を寄附

と、台木の皮の部分(皮を
はいだところ)が正しくつ
も金一封を寄附されました
ので、本紙をもって深く御
礼申上げます。

水の入らぬようにする。部をまき、接穂の先から兩
部を引き、接木全体が、かくれる程度にビニールを巻く、
その上から、打ワラで接着部と接木全体が、かくれる程度にビニールを巻く、
水の入らぬようにする。

春は植物のつぎ木、繁殖に最も適した季節であります。

かんきつ類は、台木とす
る芽が三センチメートル位
い伸びた頃か

蔵して休眠状態を続けさせておき、適期にとりだしてつぎ木する。

ぎ穂の後にあって、穂木の下の切り口に密着していることが大切である。

父末松鉄治氏を失なわれました末松義明氏
父武内清氏を失なわれました武内頼夫氏
秀子さまは鯛生保育園に返しとして、本村社会福祉協議会に金一封を寄附されました。

鯛生小学校一年生 平野
よみ子さんは、お小使のつ
銭一円玉をためて、不幸
されましたので本紙をもつ
て御礼申上げます。